

大きな紙にお絵描き

好間一小で「土曜学校」



大きな紙に鉛筆で自由に線などを描く児童たち

いわき市の好間一小で2日、「好間土曜学校」が開かれ、児童らが大きな紙に線や円などを自由に描いて

楽しんだ。県立博物館と県内の各種団体などが連携して文化活動を支援する「はま・なか

・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会」の主催。昨年が続いての開催で、今回は大きな紙と鉛筆を用意。児童たちが思い思いに線や円を描き、発想することや表現することの楽しさを感じてもらおうと開いた。全3回を予定している。美術家の中津川浩章さん（静岡県出身）が講師を務め、初回の同日は同校の児童ら約30人が参加した。児童らは鉛筆で、長さ約10枚の紙に音に合わせて円や三角などを描いたり、紙の端から端まで線を引いたりするなど、楽しみながら自由な発想で描いていた。